#### 地域包括ケアの地区展開 令和7年度 梅丘 地区アセスメント 年少人 年少人 |世帯数 平均世 |高齢者がいる世帯数 高齢者がいる 介護保険 障害者手帳保持 障害サービス受 高齢者 高齢化 密度 人口 率(%) 口(人) 口率 (世帯) 帯人数 (k m<sup>2</sup>)(%) (人/k 認定者 認定率 高齢単 高齢者 その他 世帯率 内高齢 身体障 愛の手 自立支 障害児 $m^2$ (%) 身者世 のみ世 高齢者 単身・ 数(人) (%) 害者手帳 援給付 通所給 帯数 がいる 高のみ 帯数 世帯率 28,762 17,931 5,906 20.53% 2,806 9.76% 16,791 1.71 4,345 2,011 1,083 1,251 25.88% 18.43% 1,243 | 21.05% 571 135 185 77 梅丘地区は、区内全体と比較して平均世帯人数が1.71(区平均1.83)と0.12ポイント低い、高齢化率が20.53%(区平均20.57%)と0.04%低い、年少人口率が9.76%(区平均11.14%)と1.38%低い傾向にある。 【人口(2025.4.1現在)】梅丘1丁目4,067人、梅丘2丁目3,389人、梅丘3丁目1,571人、豪徳寺1丁目4,268人、豪徳寺2丁目2,491人、代田1丁目3,929人、代田2丁目3,446人、代田3丁目5,601人 【高齢化率(2025.4.1現在)】梅丘1丁目20.95%、梅丘2丁目21.60%、梅丘3丁目21.07%、豪徳寺1丁目22.77%、豪徳寺2丁目24.65%、代田1丁目18.22%、代田2丁目21.10%、代田3丁目17.18% 【年少人口率(2025.4.1現在)】梅丘1丁目8.51%、梅丘2丁目10.42%、梅丘3丁目10.69%、豪徳寺1丁目8.01%、豪徳寺2丁目13.09%、代田1丁目10.49%、代田2丁目7.95%、代田3丁目10.44% 町会・ 会員世 サロン等登録団体数 主な活動団体とその取組内容 生活支 資源開 新たな 民間施 地区サ 援体制 自治会 帯数 発・生 整備事 活支援 居場所 設の活 ポータ 地区における様々な課題を発見し、各種関係団体との情報交換や特徴を共有 サロン 子育て ミニデ 登録団 動場所 登録者 業 協 しながら、その解決に向けて自発的に対応している主な団体、梅丘地区町会 サロンイ 議体開 ス件数 体数 発掘件 数 自治会連合会、梅丘地区身近なまちづくり推進協議会、青少年梅丘地区委員 催回数 会、梅丘地区ごみ減量・リサイクル推進委員会、日赤奉仕団梅丘分団、梅丘 動 地区社会福祉協議会、梅丘地区民生委員・児童委員協議会、四者連携会議出 席メンバーなどが存在する。 17 17 27 58 12 6 11,182 0 地域密着型サービス |障害者・児 通所系・共同生活介護等 都市型 サービ ス付き トステ 護老人 人保健 軽費老 施設 高齢者 ホーム 人ホー 看護小 認知症 地域密 すまいる梅丘(身体/生活介護)、障害者生活支援施設 梅ヶ丘(身体・知 定期巡 夜間対 認知症 小規模 向け住 回·随時 応型訪 対応型 |的・精神/生活介護)、CrazyCats(精神/就労継続支援B)、放課後等デイ 多機能 規模多 高齢者 着型特 特定施 宅、有 サービスメディキッズ梅ヶ丘(児童(重症心身障碍児))、梅丘ウッドペッ 対応型 問介護 通所介 型居宅 機能型 グルー 別養護 設入居 料老人 活訪問介 カーの森 (就労継続支援B) 、にこにこ みやさか (障害者生活介護施設)、 介護 居宅介 プホー 老人 者生活 ホーム 支 護看護 自立生活センターHANDS世田谷、ノテ梅丘(小規模多機能型居宅介 介護 ホーム 護)、代田の家(特養ホーム)、優っくり看護小規模多機能介護代田 0 障害相談支援機関·相談支援事業所 地域障害者相談支援センターぽーときたざわ、保健センター専門相談課、東京リハビリテーションセンター世田谷、発達障害相談療育センター「げんき」 医療機関、訪問看護等 医療情報ネット「ナビイ」によると、梅丘地区内には、診療所に関しては梅丘15件、豪徳寺9件、代田7件あり、薬局に関しては順に6件、5件、4件の登録がある。一方、地区内には病院はなく、区内の救急 医療機関としては北沢地域外に15件の救急医療機関が設置されている。また、夜間・休日の急病への対応として区の医師会、歯科医師会、薬剤師会も診療時間外の救急対応を行っている。 訪問看護等のサービスは、当事者のニーズを把握したうえで近隣地区も踏まえた事業者情報を第三者評価等から収集し、適切な事業者選択に繋がるような形でサービスを提供している。

児童	<b></b> 直阻	代田南児童館
その		
	の他、児童施設	子育てステーション梅丘、ほっとスクール「城山」
おて		そらまめハウス、おでかけひろばcobaco、守山保育園おでかけひろばまもりん、おでかけひろばMani(子育てステーション梅丘)、おでかけひろば一空、おでかけひろば@あみーご、おでかけひろば どんぐり
保育	<b>育施設</b>	【区立】豪徳寺保育園、守山保育園 【私立】春明保育園、梅丘なごみ保育園、あそびの森ゆう、あそびの森ゆう+(あそびの森ゆうの分園)、キッズスマイル世田谷梅丘、学び処世田谷保育屋敷わびさびあそび、世田谷代田仁慈保幼園
がが対対	准園	【私立】私立認定こども園(幼稚園型) 円光院幼稚園、代田幼稚園、青葉学園幼稚園、常徳幼稚園
も 新E	BOP	山崎小新BOP、城山小新BOP、代沢小新BOP、代田小新BOP
	区内に所在する小学校または関係 ある小学校	【区立】山崎小学校、城山小学校、代沢小学校、代田小学校
1 1 1	区内に所在する中学校または関係 ある中学校	【区立】世田谷中学校、富士中学校、梅丘中学校 【私立】国士舘中学校、鷗友学園女子中学高等学校
	区内に所在する高校・大学等また 関係のある高校・大学等	【私立】国士舘高等学校、鷗友学園女子中学高等学校、国士舘大学、東京医療保健大学(世田谷キャンパス)
子と	どもに関するその他の事項	
	池之上青少年交流センター「いけせい」、代田児童館、若林児童館、上町児童館、都立光明学園、さくらとゆかいな仲間たち(子ども食堂)、アライブ世田谷 代田子ども食堂、代田子ども食堂、うめ・ゆめ子ども食堂	
そその	の他の支援機関など(例:就労支援	など)
		ども家庭支援センター、ほわわ花見堂(児童発達支援)、病児・病後児保育室下北沢ひよこ園、つだ小児科クリニック病ボランティアビューロー、ワークサポートせたがや、東京わかものハローワーク、ハローワーク渋谷、渋谷労働基準監督
公共		梅丘図書館(令和7年度開設予定)、経堂図書館、代田図書館、国士舘大学(中央図書館)図書館公開利用、せたがやe カレッジ
施設		梅丘地区会館、花見堂地区会館、代田地区会館、宮坂区民センター、代田区民センター、羽根木公園スポーツ施設、梅丘 中学校温水プール

主な公園・緑道・広場

梅丘とちのき公園、梅丘やまぼうし公園、豪徳寺一丁目オリーブ公園、豪徳寺一丁目たまにゃん公園、世田谷城阯公園、 北沢川緑道、梅丘北公園、豪徳寺稲荷下橋公園、すみれ公園、羽根木公園(羽根木プレーパーク、羽根木公園茶室「星辰堂」「日月庵」)、梅丘児童遊園、代田広場、代田富士356広場、代田南広場、梅丘2-29遊び場、豪徳寺東辻広場、代田2-14遊び場、花見堂広場

# 土地利用、地理的特徴(住宅の特徴を含む)

区のほぼ中央に位置し、梅丘、豪徳寺、代田(1~3丁目)の3町からなる。南は世田谷地域に隣接し、当まちづくりセンターは区役所から700m程の距離に位置 している。

国士舘大学・世田谷城阯公園・豪徳寺が大きな面積を占め、環状七号線以外は大きな道路の少ない比較的環境に恵まれた住宅地である。

隣接している羽根木公園や北沢川緑道・烏山川緑道は良い散歩コースで、世田谷城阯公園、豪徳寺、善性寺、齋田記念館、代田八幡神社などを含めると緑にも 恵まれた地区である。規模の小さいポケットパークはあるが、子どもが遊べる公園・広場が少ない。

東京都による小規模都営住宅廃止の方針から、令和7年度下半期には、都営代田1丁目アパートの廃止・解体工事が予定されている。

住 | 交通の便に関する事項 (鉄道・道路)

・ 南北には「鎌倉通り」「環7」「豪徳寺商店街通り〜山下商店街通り」がある。東西には、淡島方面から梅ヶ丘駅に至るバス通り「梅丘通り」、環7から代田3・ 梅丘1・豪徳寺1丁目南端を通り、経堂本町通り商店街に抜ける「滝坂道」、豪徳寺2丁目の一部を通る「城山通り」がある。また、淡島通りからつながる都市計 画道路補助52号線の事業が進められている。

| 環七により地区内が分断されており、特に子どもと高齢者の行動範囲が分かれてしまっている。

・ 主な交通機関は小田急線(世田谷代田駅・梅ヶ丘駅・豪徳寺駅)と世田谷線(宮の坂駅・山下駅)である。

防 平成29年1月からコミュニティバス (梅ヶ丘駅~等々力操車所)の運行が開始し、平成30年4月からバスの運行時間を拡大している。

令和5年に実施した車座集会の中で等々力操車場から梅ヶ丘駅に向かう経路中のまちづくりセンター付近に停留所がないことへの是非について質問があったが、停車位置の確保や道路形状の問題から見送られたことが説明された。

|令和7年3月より梅ヶ丘駅を経由し経堂駅と渋谷駅を結ぶバスの運行本数が減少し、買い物や通院等で不便になったとの声があがっている。

産業に関する事項(買物・商店街などを含む)

梅ヶ丘駅周辺の梅丘商店街振興組合、豪徳寺駅南側の豪徳寺商店街振興組合、豪徳寺駅北側の山下商店街振興組合、梅丘通り沿いの代田一丁目商店会など8つの商店街がある。買い物困難地区(店舗から500m以上離れている地区)とは言えないが、梅丘3丁目と代田3丁目の一部に買い物の不便なエリアがある。 また、区が福祉のまちづくりを積極的に展開してきたこともあり、働く職場という視点で地域を見た場合、「うめとぴあ」、児童相談所をはじめ多くの福祉関係施設が集中している。なお、宮坂1丁目にはシルバー人材センター本部がある。

防災 → 各地区の地区防災計画を参照

### 地区ビジョン

|『地域で見守り支えあうまちづくり 梅丘』

地域の誰もが孤立せず、求めているときに必要な支援が受けられるよう、相談機関、地域団体、近隣住民が繋がり、相互に顔の見えるネットワーク(地域の絆)づくりを目指す。

### 課題、取組みの方向性

# 1. 高齢者・障害者・子どもなどの見守り

これまで地域で高齢者の見守りを進めるため「見守りあんしんシート」を作成、配布し、町会・自治会、商店街、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等の関係機関が中心となって取組みを進めてきた。令和4年度より高齢者のみでなく、障害者・子ども等見守りの対象を広げた。令和5年度より子どもも含めた啓発物「見守り・気づきのポイント」を作成し、配布している。令和6年度は、子どもの見守りについて講演会を実施し、令和7年度は講演会の際のグループディスカッションでの意見をまとめた「子どもの見守り・気づきのポイント」作成を進める。

# 地 2. 地区防災・減災活動

本 梅丘地区内は、地区防災訓練をとりやめ町会・自治会単位で防災訓練を行っている。また、地区内にある4か所の指定避難所(世田谷中学校、城山小学校、 さくら花見堂、山崎小学校)の運営について、主に町会・自治会で構成される避難所運営委員会とともに訓練や検討を行っている。平成26年度より「発災後72 時間は地区の力で乗り切る」をスローガンに掲げた「防災塾」を開催し、梅丘地区防災計画の策定など、地区内の防災力の向上を図っている。

# の 3. 日常の困りごとや相談への対応

取 通常の困りごとや相談は、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館といった各組織の職務に応じてそれぞれのネットワー 組 クも活かしながら適宜、情報を共有しつつ対応に当たっている。ただし、多世代交流や、男性介護者の交流や情報交換、豪徳寺参拝を目的とした一部海外から み の観光客による問題行為等、個別に配慮、調整しなければならない事項も多く、引き続き丁寧でケースに応じた対応が求められるため、協力しつつ対応する。

## 4. 地域活動のPR方法の検討と担い手の発掘

町会自治会会員の減少や高齢化により、従来行って来た回覧板や掲示板によるPRでは、地区内に情報が行き渡らなくなってきている。また、地域活動の大半を占める高齢者と若い世代とのつながりも希薄になっており、活動の存続が危ぶまれる状況となってきている。町会自治会内外の多世代への周知方法や地域活動の次世代の担い手の発掘等について検討していく。

## 参加と協働の地域づくりの取組み内容(参加と協働を基盤とした地区課題への取組み)

- 【居場所づくり・多世代交流】四者連携会議において、学校の長期休暇中の小学生の食について地区課題としてとらえ、令和5年度より「みんなで一 ① 緒に食事会」を実施している。高齢者と小学生・中学生を対象とし、一緒に調理・食事をし、世代を超えた交流の場としての事業であり、今後も継続して実施していく。
- ② 【居場所づくり・多世代交流】令和7年度より、梅丘・豪徳寺エリアの小学生を対象に「みんなで一緒に食事会」を実施していく。
- 【地区防災力の向上】地域の意見を聞き取りながら避難所運営の意識を高めていく。今後は、訓練の質の向上を図りたい。加えて、各避難所における ③ 避難所運営の検討の中で「避難所運営委員の高齢化により、避難所運営が厳しくなりつつある」現状を踏まえて、PTA等の若い世代を取り込んでい く方策を考える。
- ④ 【高齢者・子どもの見守り】梅丘見守りネットの会(町会・自治会、商店街、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等で構成)により、地域で 高齢者の見守りを進めるための「見守りあんしんシート」、子どもも含めた啓発物「見守り・気づきのポイント」を配布している。
- ⑤ 【高齢者・子どもの見守り】梅丘見守りネットの会では、新たに前年度の子どもの見守りについての講演会を受けて、子どもを対象とした「見守り・気づきのポイント」を作成する。
- ⑥ 【高齢者・子どもの見守り】梅丘見守りネットの会では、高齢者・障害者・子ども等の見守りに関係するテーマにより、講演会を実施している。
- 【買い物不便解消】隣接する若林5丁目は買い物不便エリアであり、梅丘3丁目の高齢な居住者も買い物の不便さを感じていた。若林地区から2地区 ⑦ 合同で四者連携事業実施の提案があり、令和7年度より、地区境の教育総合センター敷地を利用した週1回のコンビニエンスストアによる移動販売を 実施している。
- ⑧ 【交流機会】男性の介護者より他の男性介護者と交流や情報共有したいということから、あんしんすこやかセンターにおいて「梅丘男性介護者の会びあエール」を実施している。
- ⑨ 【交流機会】認知症がある方もない方も共に過ごし、自分の思いを発信できる場としてアクションチーム「うめカフェ」を実施している。この参加者を多世代交流事業の「みんなで一緒に食事会」へとつなげている。
- 【交流機会】高齢者の不安の解消を目的に、人生の終わりに向けた準備に必要なものを学び、交流しあう居場所として「終活カフェ」を実施している。最近は「人生を楽しむことも終活の一つ」と捉え、「今」を楽しむ住民を講師役に情報交換や話題の提供も始まる等、居場所として定着してきている。